



# サステナビリティ経営とSDGs



# CSR検定

2015年に国連がSDGs(持続可能な開発目標)を採択して以来、サステナビリティ経営が急速に世界や日本に浸透しています。SDGsを正しく実践するためには、ISO26000(組織の社会的責任の国際規格)などCSR(企業の社会的責任/社会対応力)の理解が不可欠です。CSR検定はCSRの正しい知見を共有することを目的としています。

(会場によって開始時間は異なります)

3級  
第11回試験

2級  
第5回試験

2020年 **4月19日(日)午前10時**

お申込期間: 2020年1月5日(日)~3月8日(日)

## 3級試験概要

### 3級試験の目的

CSRの基本的なリテラシー(理解力)を身につけること

試験時間 70分

問題数 40問(選択式)

### 出題範囲

CSR検定公式テキスト3級 2019年版、及びCSR検定アップデートを中心に出题されます。

合格ライン 80%以上

### 受験料(税込み)

- ◆一般: 4,950円
- ◆一般特割: 4,400円
- ◆学生: 3,300円
- ◆学生特割: 2,750円

受験想定者 すべての社会人、学生

公式テキストは  
公式オンライン  
ショップで



3級 → <http://alterna.thebase.in/items/15690358>  
2級 → <http://alterna.thebase.in/items/15691190>

3級試験は毎年4月と10月、2級試験は毎年4月、1級1次試験は毎年10月に実施します

試験会場(予定)	札幌、山形、仙台、宇都宮、さいたま、所沢、千葉、東京、横浜、松田、長野、静岡、富山、名古屋、刈谷、岐阜、三重、京都、大阪、広島、周南、今治、福岡、大分、熊本
詳細	<a href="http://www.csr-today.biz">www.csr-today.biz</a>
共催	株式会社オルタナ 一般社団法人CSR経営者フォーラム
推薦	一般社団法人 日本経営士会

### 特割

特別協力団体割引制度: CSR検定を社内告知頂くだけで2級受験料が1,100円、3級が550円安くなる仕組みです。詳しくは → <https://www.csr-today.biz/24910>

## 2級試験概要

### 2級受験の目的

より深いCSRリテラシーと実践的スキルを身につけること

試験時間 90分

問題数 25問(選択式)+記述式2問

### 出題範囲

CSR検定公式テキスト2級 2019年版、及びCSR検定アップデートを中心に出题されます。

合格ライン 80%以上

### 受験料(税込み)

- ◆一般: 8,250円
- ◆一般特割: 7,150円
- ◆学生: 4,950円
- ◆学生特割: 3,850円

受験想定者 CSR担当者など、CSRをより深く学習される方。3級合格者が望ましい

(2級テキスト購入は必須です)

## CSR検定3級試験1~10回合格者ランキング

- 1位 肥後銀行(熊本市、380人)
- 2位 株式会社ユニバーサルポスト(広島市、162人)
- 3位 カシオ計算機株式会社(東京都、100人)
- 4位 カルビー株式会社(東京都、68人)
- 5位 アヤハグループ(天津市、66人)
- 6位 株式会社野毛印刷社(横浜市、64人)
- 7位 IDEC株式会社(大阪市、63人)
- 8位 株式会社ブリヂストン(東京都、61人)
- 9位 横浜市立大学(横浜市、53人)
- 10位 リコーグループ(東京都、51人)

## CSR検定2級試験1~4回合格者ランキング

- 1位 カシオ計算機株式会社(東京都、24人)
- 2位 SOMPOグループ(東京都、9人)  
第一生命保険株式会社(東京都、9人)
- 4位 カルビー株式会社(東京都、8人)  
セブン&アイグループ(東京都、8人)
- 6位 アヤハグループ(天津市、7人)
- 7位 第一三共株式会社(東京都、6人)  
日立製作所グループ(東京都、6人)  
株式会社ブリヂストン(東京都、6人)
- 10位 IDEC株式会社(大阪市、5人)  
KDDI株式会社(東京都、5人)  
小林製薬株式会社(大阪市、5人)  
サンメッセ株式会社(大垣市、5人)

2019年12月現在

## 3級(第1回~第10回)

受験者総数: 5418人 / 合格者総数: 3945人

うち 大学生の合格者累計 (65大学 250人)  
高校生の合格者累計 (18校 19人)

## 2級(第1回~第4回)

受験者総数: 752人 / 合格者総数: 435人

うち 大学生の合格者累計 (7大学 7人)

問い合わせ先

CSR検定サポート事務局(株式会社オルタナ)  
〒153-0041 東京都目黒区駒場1-26-10-304

URL: [www.csr-today.biz](http://www.csr-today.biz)  
mail: [kentei@alterna.co.jp](mailto:kentei@alterna.co.jp)



## 合格者の声

### CSRを多面的・体系的に学べる絶好の機会

弊社はCEOを委員長とする「CSR委員会」での議論を経て、2018年度にCSR重要課題(マテリアリティ)を特定しました。その「CSR委員会」の運営事務局でありCSR推進の業務に、昨年自分が異動になったことに加え、その後も新たなメンバーがチームに加わったことが受検のきっかけです。CSRを多面的かつ体系的に学べる絶好の機会と考え、受検したことのないメンバー全員で3級に挑戦することになりました(テキスト代・受験費用は会社費用)。検定後はメンバー間でCSRに関する理解が統一され、共通認識のもとで業務が進めやすくなるという大きな収穫もありました。

今後、自身としては2級受検を視野に入れつつ、CSR推進メンバー以外にも広く受検を推奨し、社内のCSR理解促進につなげていきたいと考えています。

三菱自動車工業株式会社  
コミュニケーション本部 サステナビリティ推進部 担当部長  
松井 貴子さん(第9回3級試験合格)

### なぜCSRが有効なのかを明快に言語化

大学ではCSRや非営利組織経営について学んでおり、社会課題解決のためには、多くのセクターが協力しなければならないことを知りました。

その中でも、国内では特に企業の影響力が大きいため、CSRの浸透がより良い社会の実現に繋がると想定し、まずは自分の理解を深めるために、CSR検定を受験しました。

2級合格に向けた勉強を通し、なぜCSRが有効なのかを、以前より明快に言語化できるようになりました。

将来、企業のCSR・サステナビリティ部で働きたいと思っているので、今回の検定受験で得た知識を最大限に活用・還元したいと考えております。

CSRやサステナビリティ分野は、日々状況が変わるので、2級合格に満足せず、今後も学習に励みたいと思っています。

明治大学経営学部公共経営学科 4年  
多田野 豪さん(第4回2級試験合格)

## CSR検定3級(第9回) 2級(第4回)試験の実際の問題(抜粋)

※過去の問題と正答は[www.csr-today.biz](http://www.csr-today.biz)からダウンロードできます

### 3級

**問題 11** 「ISO26000」に関する次の記述で、最も適切なものを一つ選べ。(\*)

- ア. 「ISO26000」は、「ISO9001」や「ISO14001」と同様、第三者認証規格である
- イ. 「ISO26000」で対象となる企業は、日本では東証一部、二部上場企業に限定されている
- ウ. 「ISO26000」の7つの中核主題に組織統治が含まれている
- エ. 「ISO26000」の対象には警察、学校、病院は含まれない

**問題 27** 「ダイバーシティ& インクルージョンとは何か」に関する次の記述で、適切なものはいくつあるか。(\*\*\*)

- 1. 21世紀において、存在価値ある日本、日本人としてどのように生きていったらいいか、ダイバーシティ(多様性)社会を意識・理解・認識し、受け入れ、その上で共に存在していくことが大切であるが、このことを、インクルージョン(Inclusion)と言う
  - 2. 日本では2016年4月、「女性活躍推進法」(通称)が施行された。対象となる企業は、従業員301人以上の企業で、当該企業の事業主は、①女性の活躍に関する状況の把握、改善すべき事情についての分析②「事業主行動計画」の策定・公表、③女性活躍に関する情報の公表、の行動計画が求められている
  - 3. 女性、障がい者、高齢者、外国人、消費者やバリューチェーンにおける差別・人権侵害など克服すべき課題は多いが、取り組みの過程で注意すべきは、「無意識の偏見」である。誤った直感を排し、属人的要素や考え方の相違を冷静に受け入れるダイバーシティとインクルージョンが求められる
  - 4. ジェンダー平等の達成、女性の能力強化(Empowerment)はSDGsの17の目標の中に入っている
- ア. 1つ
  - イ. 2つ
  - ウ. 3つ
  - エ. 4つ

### 2級

**問題 5** 「国連ビジネスと人権に関する指導原則」に関する次の記述で、最も適切なものを一つ選べ。(\*\*)

- ア. 法的拘束力を持つ指導原則であり、世界中の関係各方面から賛同を得て、さまざまなCSRイニシアティブに多大な影響を与えた
- イ. 企業には人権を「保護」する義務が求められている
- ウ. 「指導原則」を各国で着実に実施するための「国別行動計画(NAP)」は2018年4月現在で、約20カ国が策定している
- エ. 1984年の「インド・ボパール化学工場事故」、1997年に発覚した大手スポーツアパレルブランド企業ナイキのサプライチェーン上の搾取労働事件など、多国籍企業による人権侵害事件が20世紀後半から多発し、国連でも取り上げられ、その結果、国連による法規制へと繋がった

・難易度：\* (易しい)、\*\* (普通)、\*\*\* (難しい)      正答：3級：問題11：ウ、問題27：エ、2級：問題5：ウ